

都市再生整備計画 事後評価シート
橋本・城山地区

平成26年3月

神奈川県相模原市

様式2-2 地区の概要

橋本・城山周辺地区(神奈川県相模原市) 都市再生整備計画の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 橋本地区の交通結節点としての役割や市北部地区の中心市街地としての都市基盤を推進するとともに、橋本地区へのアクセス性を向上させ、橋本・城山地区の一体的な街づくりを推進する 目標1: 橋本地区の渋滞緩和、さがみ縦貫道路相模原インターチェンジからのアクセス向上、安全で利便性の高い道路整備事業を推進する 目標2: 中心市街地として相応しい利便施設の集積を図る 目標3: 都市活動・コミュニティ活動の拠点整備を推進するとともに、新たな街づくりを推進する		商業店舗の売り場面積	単位: m ²	115,882	H19	127,470	H25	164,904	H25
		市民活動団体の活動回数	単位: 回/年	5,888	H19	6,476	H25	5,529	H25
		橋本駅乗降客数	単位: 人/1日平均	203,204	H19	213,364	H25	212,035	H25
		公民館等の利用者数	単位: 人/年	59,948	H19			64,161	H25
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> さがみ縦貫道路や津久井広域道路の開通に向け地域の交通環境への対応が求められる中、橋本地区へのアクセスを複数方向に分散させることによって、交通渋滞が緩和し、円滑で利便性の高い交通環境になりつつある。引き続き、交通渋滞の緩和などに向けたさらなる地域交通環境への対応が必要である。 橋本大通りの交差点改良や坂本橋人道橋、駅前広場の改修などにより、安全で利便性の高い都市基盤が整った。 橋本駅南口にアリオ橋本がオープンするなど中心市街地における利便施設の集積が図られた。 「もみじホール城山」が開館し、質の高い文化施設の提供が可能となり、地域コミュニティ活動の新たな拠点を形成した。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> さがみ縦貫道路や津久井広域道路開通後の交通渋滞等の状況を確認し、必要な対策を講じる。 橋本駅北口へ乗り入れている路線バスの南口への誘導や城山地区からの路線バスの増便により、駅利用者の利便性をさらに向上させる。 中心市街地の活性化に向け、橋本駅周辺の多様な事業主体の連携を強化する。 市の施設予約システムなどを活用し、地域の公民館等の利便性を向上させ、コミュニティ活動の拠点としてさらなる活性化を図る。 「もみじホール城山」の設備を活かし、コンサートや各種イベントなどを通じ、地域の文化活動の拠点として継続的に活用する。 さがみ縦貫道路、津久井広域道路の開通に際し、市西部から流入する自動車交通を分散化させることで、中心市街地の交通渋滞の緩和を目指す。 							

